

2018年業績目録
(2018年1月～2018年12月)

大学院

顎口腔機能制御学講座
咀嚼機能解析学

著書

増田裕次 (分担) (2018) 成人～高齢者向け咀嚼機能アップBOOK, 小野高裕, 増田裕次 (監), クインテッセンス, 東京

北川純一, 海野俊平, Mohammad Zakir Hossain, 安藤 宏, 増田裕次 (分担) (2018) 口腔・咽頭・喉頭領域の感覚, In口・鼻・耳の感覚メカニズムと応用技術, S&T出版, 東京, p3-13
論文発表

Kamimura R, Hossain MZ, Unno S, Ando H, Masu-da Y, Takahashi K, Otake M, Saito I and Kitagawa J (2018) Inhibition of 2-arachidonoylglycerol degradation attenuates orofacial neuropathic pain in trigeminal nerve-injured mice. J Oral Sci **60** (1) : 37-44

Matoba H, Kanayama H, Kato T, Hossain MZ, Kitagawa J, Takehana Y, Yamada K and Masuda Y (2018) Temporal changes in occlusal vertical dimension and its involvement in modulation of jaw movement in bite-reduced animals. J Oral Sci **60** : 170-6

Hossain MZ, Ando H, Unno S, Masuda Y and Kitagawa J (2018) Activation of TRPV1 and TRPM8 channels in the larynx and associated laryngopharyngeal regions facilitates the swallowing reflex. Int J Mol Sci **19** : 4113

学会発表

日本顎口腔機能学会第60回学術大会 2018年4月 (横浜)
新たな口唇トレーニングによる口腔機能の向上: 山田蘭子, 長井 健, 竹花快恵, 影山 徹, 山田一尋, 増田裕次 (日本顎口腔機能学会誌 **24** (2))

日本顎口腔機能学会第61回学術大会 2018年9月 (東京)
咬合低下モデル動物に咬合挙上を施した後の咬合高径の経日的変化: 霜野良介, 菅生秀昭, 増田裕次 (日本顎口腔機能学会誌 **25** (1) : in press)

Oral Neuroscience 2018 2018年10月 (吹田)
Temporal changes in occlusal vertical dimension after bite-raising in bite-reducing model animals: Shimono R, Masuda Y and Kato T (Oral Neuroscience 2018 Program & Abstract : 2018)

日本咀嚼学会第29回学術大会 2018年10月 (松本)
ゲーム感覚で行う口唇トレーニングによる口腔機能の向上: 山田蘭子, 増田裕次 (日本咀嚼学会誌 **28** (2))
幼・保, 小・中学校における, 学校, 家庭, 地域と連携した咀嚼の啓発活動: 安富和子, 増田裕次 (日本咀嚼学会誌 **28** (2))

日本ラクトフェリン学会第8回学術集会 2018年10月 (広島)
健全成人におけるラクトフェリン+ラクトパーオキシダーゼ配合錠菓の口腔の健康維持・改善効果: 吉田明弘, 中野学, 若林裕之, 山内恒治, 阿部文明, 増田裕次 (日本ラクトフェリン学会第8回学術集会)

第12回三叉神経感覚—運動統合機構研究会 2018年12月 (勝浦)
外耳道のひずみで咀嚼回数をカウントする方法に対する食品の影響: 吉野旭宏, 菅生秀昭, 霜野良介, 山田紗織, 増田裕次 (第12回三叉神経感覚—運動統合機構研究会)

講演会

長野県シニア大学 2018年1月 (松本)
口が健康であることの意義—噛むことの効用—: 増田裕次
塩尻ロマン大学 2017年7月 (塩尻)
口は「幸せ」のもと—口腔機能の向上で健康生活—: 増田裕次
塩尻市職員研修会 給食調理員対象 2018年7月 (塩尻)
食べるということから健康を考える～よく噛んで食べる～: 増田裕次
第17回日本咀嚼学会健康咀嚼指導士認定研修会 2017年8月 (東京)
咀嚼の意義と健康咀嚼指導士: 増田裕次

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

増田裕次: 外耳道のひずみの計測波形から咀嚼回数を計数する装置の開発 (挑戦的萌芽研究 (代表))
増田裕次: 包括的な生理学的根拠に基づく新たな嚥下障害の治療法の検討 (基盤研究C (分担代表者: 北川純一))
増田裕次: 咽頭・喉頭領域におけるTRPチャネルの生理学的機能の検討: 「のどごし」と嚥下誘発 (基盤研究C (分担代表者: 安藤 宏))

その他の研究補助金による研究

増田裕次：自立高齢者を増やすための革新的食品提供システムの開発（戦略的国際共同研究プログラム 日本－スウェーデン共同研究JST（分担代表者：松尾浩一郎））

顎口腔機能制御学講座
生体調節制御学

著書

北川純一, 海野俊平, Mohammad Zakir Hossain, 安藤 宏, 増田裕次 (2018) 口・鼻・耳の感覚メカニズムと応用技術（分担執筆：口腔・咽頭・喉頭領域の感覚）, pp3-15, S&T出版, 東京

金銅英二（分担執筆）（2018）口腔解剖学, 第2版, pp57-9, 医歯薬出版, 東京

澁谷 徹（分担執筆）（2018）有病者歯科学, 第1版, pp238-40, 永末書店, 京都

論文発表

Hossain MZ, Ando H, Unno S, Masuda Y and Kitagawa J (2018) Activation of TRPV1 and TRPM8 channels in the larynx and associated laryngopharyngeal regions facilitates the swallowing reflex. *Int J Mol Sci* **19**: 4113

Kamimura R, Hossain MZ, Unno S, Ando H, Masuda Y, Takahashi K, Otake M, Saito I and Kitagawa J (2018) Inhibition of 2-arachidonoylglycerol degradation attenuates orofacial neuropathic pain in trigeminal nerve-injured mice. *J Oral Sci* **60**: 37-44

Matoba H, Kanayama H, Kato T, Hossain MZ, Kitagawa J, Takehana Y, Yamada K and Masuda Y (2018) Temporal change in the occlusal vertical dimension and its involvement in modulation of jaw movement in bite-reduced animals. *J Oral Sci* **60**: 170-6

Okamoto N, Okumura M, Tadokoro O, Sogawa N, Tomida M and Kondo E (2018) Effect of single-nucleotide polymorphisms in TRPV1 on burning pain and capsaicin sensitivity in Japanese adults. *Mol Pain* **14**. 1744806918804439

Bakri MM, Yahya F, Munawar KMM, Kitagawa J and Hossain MZ (2018) Transient receptor potential vanilloid 4 (TRPV4) expression on the nerve fibers of human dental pulp is upregulated under inflammatory condition. *Arch Oral Biol* **89**: 94-8

澁谷 徹 (2018) インプラント治療にともなう全身偶発症を生じさせないためのモニタリング活用術 第1回：インプラント治療時のモニタリングの基礎. *Quintessence DENTAL Implantology* **25** (1) : 100-5

澁谷 徹 (2018) インプラント治療にともなう全身偶発症を生じさせないためのモニタリング活用術 第2回：インプラント治療を中断・中止するバイタルサインの異常変化. *Quintessence DENTAL Implantology* **25** (2) : 118-25

澁谷 徹 (2018) インプラント治療にともなう全身偶発症を生じさせないためのモニタリング活用術 第3回：精神的ストレスを軽減させるための精神鎮静法の応用. *Quintessence DENTAL Implantology* **25** (3) : 120-4

石田麻依子, 湯川譲治, 谷山貴一, 小川さおり, 澁谷 徹 (2018) 全身麻酔中の頰脈からバセドウ病の診断にいたった自閉スペクトラム症患児の1例. *日本歯科麻酔学会雑誌* **46** (1) : 46-8

小川さおり, 谷山貴一, 澁谷 徹 (2018) 生体肝移植後患児5例に対する歯科治療時の全身麻酔症例の検討. *松本歯学* **44** : 88-91

その他の学術著作物

田所 治, 大野伸彦, Huy Bang Nguyen, 齊藤 成 (2018) 連続ブロック表面SEMによるカエル舌の茸状乳頭上皮に分布する神経の三次元構造解析. *自然科学研究機構生理学研究所年報* **39** : 188

学会発表

第123回日本解剖学会総会全国学術集会 2018年3月（東京）

心臓の位置と大動脈の異常を伴った胸管の破裂例：田所 治, 奥村雅代, 前田信吾, 金銅英二, 矢ヶ崎 裕, 堀部寛治, 中村浩彰（プログラム抄録集：p169, 2p-104）

第27回神経行動薬理若手研究者の集い 2018年6月

Pharmacological approach to improve swallowing function: utilizing TRPV1 and TRPM8 channels to facilitate the evoking of swallowing reflex: Hossain MZ, Unno S, Ando H, Masuda Y and Kitagawa J（プログラム抄録集：p27）

第40回日本疼痛学会 2018年6月（長崎）

顎顔面領域Central post-stroke pain: CRPSの治療経験：金銅英二, 谷山貴一, 石田麻依子, 靱島弘之, 澁谷 徹

第53回中部歯科麻酔研究会 2018年7月

生体肝移植後患児5例に対する歯科治療時の全身麻酔症例の検討：小川さおり, 谷山貴一, 澁谷 徹

第60回歯科基礎医学会学術大会 2018年9月

Involvement of TRP channels to facilitate the evoking of swallowing reflex: Hossain MZ, Unno S, Ando H, Masuda Y and Kitagawa J (プログラム抄録集 : p99)

Expression of TRPV1, TRPM8 and TRPA1 channels in the superior laryngeal nerve innervating the laryngeal and associated laryngopharyngeal regions: Ando H, Hossain MZ, Unno S, Masuda Y and Kitagawa J (プログラム抄録集 : p395)

日本味と匂学会第52回大会 2018年10月

咽頭・喉頭領域を支配する上喉頭神経におけるTRPV1, TRPM8およびTRPA1チャネルの発現と嚥下の促進: 安藤 宏, Mohamad Zakir Hossain, 海野俊平, 増田裕次, 北川純一 (プログラム抄録集 : p95)

第46回日本歯科麻酔学会総会学術集会 2018年10月 (奈良)

顎顔面領域Central post-stroke pain: CRPSの治療経験: 金銅英二, 谷山貴一, 石田麻依子, 靛島弘之, 澁谷 徹

Seckel症候群を有する兄弟の歯科治療のための全身麻酔経験: 小川さおり, 谷山貴一, 澁谷 徹

15th International Dental Congress on Anesthesia, Sedation and Pain Control (IFDAS 2018) 2018年10月 (Nara)

A case of central post-stroke pain in orofacial region: Kondo E, Taniyama K, Ishida M, Haishima H and Shibutani T

第87回松本歯科大学学会 (例会) 2018年11月 (塩尻)

顎顔面領域Central post-stroke pain: CRPSの治療経験: 金銅英二, 谷山貴一, 石田麻依子, 靛島弘之, 澁谷 徹

第16回日本機能性食品医用学会 2018年12月

カプサイシンおよびメントールによる嚥下機能改善の検討: 海野俊平, Mohamad Zakir Hossain, 安藤 宏, 北川純一 (プログラム抄録集 : p201)

講演会

口腔顔面痛脳学習キャンプin信州 2018年8月 (塩尻)

脳の構造と機能, 末梢神経系の構造と機能: 金銅英二, 奥村雅代

日本歯科学学生連盟 第一回大会 2018年12月 (塩尻)

脳の発生と構造・機能: 金銅英二

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

坪井美行 (代表) : 一次求心性A神経線維をターゲットとした疼痛治療の基礎研究 (基盤研究C (分担: 浅野正岳, 奥村雅代, 三枝 禎))

北川純一 : 包括的な生理学的根拠に基づく新たな嚥下障害の治療法の検討 (基盤研究C (研究代表))

受賞

第16回日本機能性食品医用学会 2018年12月

カプサイシンおよびメントールによる嚥下機能改善の検討: 海野俊平 (優秀演題賞)

顎口腔機能制御学講座
臨床機能評価学

学会発表

第127回公益社団法人日本補綴歯科学会学術大会 (岡山) 2018年6月

CBCTデータを応用し設計した個人トレーを用いた上顎顎義歯治療とその機能回復過程: 北澤富美, 三溝恒幸, 倉澤郁文, 靛島弘之, 伊比 篤, 新村弘子, 羽鳥弘毅, 黒岩昭弘, 中本哲自

CADによるチタン合金製クラスプの形態に対する三次元有限要素法を用いた最適化: 三溝恒幸, 北澤富美, 伊比 篤, 倉澤郁文, 羽鳥弘毅, 黒岩昭弘, 中本哲自

第48回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会 (大阪) 2018年9月

アナターゼ型TiO₂焼結体上でのマウス骨芽様細胞のアルカリフォスファターゼ活性: 横井由紀子, 横井寛之, 笠原隼男, 山口正人, 内田啓一, 永澤 栄, 黒岩昭弘

特定非営利活動法人日本咀嚼学会第29回学術大会 (松本) 10月

松本歯科大学病院における有床義歯咀嚼機能検査の実施状況: 富士岳志, 黒岩昭弘, 倉澤郁文, 中本哲自

公益社団法人日本補綴歯科学会 東海支部学術大会 (名古屋) 10月

有床義歯咀嚼機能検査による有床義歯の術後評価: 富士岳志, 米田紘一, 平良勝将, 岡崎耕典, 平岡敬太, 黒岩昭弘, 倉澤郁文, 羽鳥弘毅, 中本哲自

講演会

松本歯科大学校友会滋賀県支部学術講演会 2018年6月

「TCHについて考える」: 倉澤郁文

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

富士岳志：上皮膜イオン濃縮機構による全身水収支診断とドライマウス治療戦略（基盤研究B（分担））

倉澤郁文：マルチセンターリサーチによる日中覚醒時ブラキシズムの診断基準確立への挑戦（基盤研究B（分担））

富士岳志：口腔プラーク除去の客観的評価と口腔粘膜モデル開発へのマイクロスケールミストの応用（基盤研究C（代表））